

令和2年度行政事業レビューシート (法務省)

事業名	被收容者等の処遇			担当部局庁	出入国在留管理庁			作成責任者	
事業開始年度	昭和25年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	総務課			総務課長 上原 龍	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	出入国管理及び難民認定法			関係する 計画、通知等	「世界一安全な日本」創造戦略				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	出入国管理及び難民認定法に基づき、我が国の外国人受入れ政策に反する外国人に対する退去強制手続の一環として、收容令書又は退去強制令書の発付を受けて入国者收容所又は收容場に收容されている被收容者等について、国外送還等が可能となるまでの間、人権にも配慮しつつ、給食・医療・運動の機会を与えるなどして適正な処遇を行うことを目的とする。								
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	我が国の外国人受入れ政策に反して不法滞在・不法就労をしている外国人や、刑事手続において、特定の罪や一定以上の刑罰により処罰等された外国人については、出入国管理及び難民認定法に基づき退去強制を受けることとなり、その一環として、同法に違反する容疑があるとして收容令書を発付された者及び退去強制手続の最終形態として国外送還のための退去強制令書が発付された者については、その逃亡を防止し確実な退去強制手続を担保するため、收容施設に收容することとしている。								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	1,632	1,753	2,082	2,223	2,178		
		補正予算	13	26	19	168			
		前年度から繰越し	244	142	0	8	-		
		翌年度へ繰越し	▲ 142	-	▲ 8	-			
		予備費等	54	82	-	-			
	計		1,801	2,003	2,093	2,399	2,178		
	執行額		1,729	1,963	1,989				
	執行率 (%)		96%	98%	95%				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		105%	110%	95%					
令和2・3年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求		主な増減理由				
	收容諸費	1,514	1,579		「新型コロナウイルス対策関連要望額」130				
	被護送收容者食糧費	686	576		被收容者人員の減に伴う被護送收容者食糧費の減等				
	被收容者被服費	1	1						
	被收容者帰国支援事業委託費	22	22						
	計	2,223	2,178						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 2年度	目標最終年度 -年度
	延被收容者1人当たりの医療品費について対前年度減を目標とする。	延被收容者1人当たりの医療品費	成果実績	円	284	215	281	-	-
			目標値	円	138	284	215	281	-
			達成度	%	49	132	77	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	執行額、年間延被收容者数								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込
	年間被收容者数	活動実績		人	491,246	536,070	530,484	-	-
		当初見込み		人	447,352	554,829	482,835	562,737	-
単位当たり コスト	算出根拠				単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込
	執行額 / 年間收容延人員数		単位当たりコスト		円	3,520	3,662	3,749	-
			計算式		百万円/件	1,729/ 491,246	1,963/ 536,070	1,989/ 530,484	-

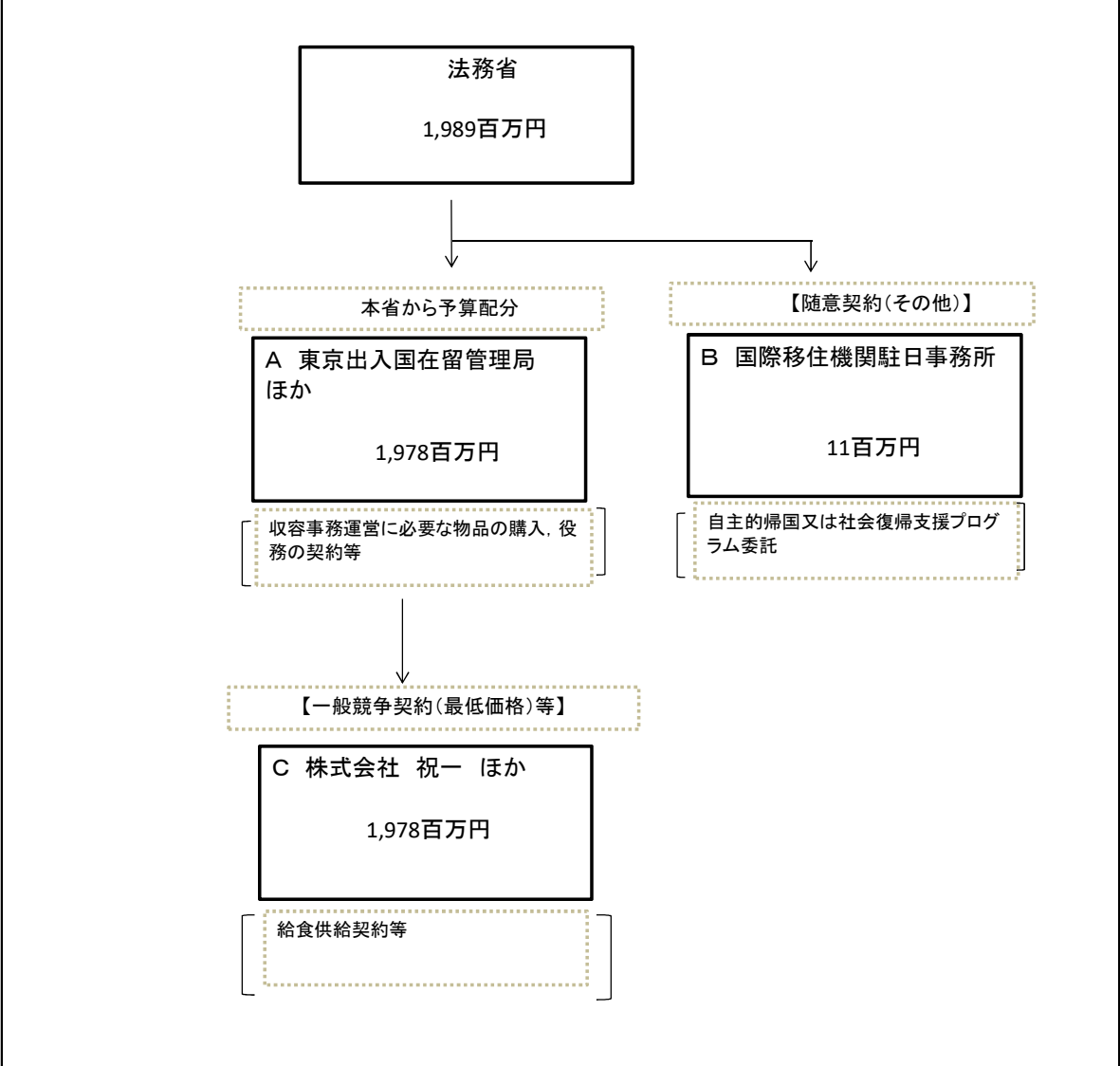
政策評価	政策	出入国の公正な管理(V-13)										
	施策	円滑な出入国審査及び不法滞在者等対策の推進(V-13-(1))										
	測定指標	定量的指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標	目標年度		
				実績値	-	-	-	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-	-	-	-
		定性的指標	目標		目標年度	施策の進捗状況(目標)						
					-	施策の進捗状況(実績)						
					-							
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	-											
新経済・財政再生計画改革工程表 2019	取組事項	分野:	-	-								
	(第一KPI)	KPI (第一階層)			単位	計画開始時	元年度	2年度	中間目標	目標最終年度		
				成果実績	-	-	-	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-	-	-	
	(第二KPI)	KPI (第二階層)			単位	計画開始時	元年度	2年度	中間目標	目標最終年度		
				成果実績	-	-	-	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と取組事項・KPIとの関係											
-												

事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	法違反者である被収容者等の処遇を行う事業であり、国民や社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	法違反者である被収容者の処遇を行う事業であり、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	出入国管理及び難民認定法、被収容者処遇規則等に基づき実施している。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札を原則とし、競争性を確保している。一者応札になった場合には更なる周知を図るとともに、仕様書の見直し等に努めている。競争性のない随意契約については、IOM送還プログラムの利用による真に競争性のないものである。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	単位当たりのコスト水準は妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	当該費用は被収容者に対して使途しており、真に必要なものに限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	一般競争入札を原則とし、コスト削減を行っている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果実績は成果目標を達成している。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は、おおむね見込みに合ったものとなっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	被収容者の人権に配慮しつつ、給食・医療・運動の機会を与えるなどして適正な処遇が行われている。	
	改善の方向性	被収容者の処遇については、入国者収容所等視察委員会から例示された意見について、速やかに検討を行い、対応可能なものから措置を講じるよう努めるなど、処遇の透明性の確保や入国者収容所等の運営の改善に向けて引き続き取り組んでいくこととする。また、被収容者数等の見込みの算出については、一層精査することとする。	
外部有識者の所見			
外部有識者による点検対象外である。			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現状通り	引き続き効率的な予算の執行に努められたい。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
現状通り	-		
備考			

関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	0062,0065	平成23年度	0058,0061	平成24年度	0063,0065	平成25年度	0071,0074
平成26年度	0059,0061	平成27年度	0057	平成28年度	0059	平成29年度	0059
平成30年度	0059						
平成31年度	法務省 (0061)						

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.東京出入国在留管理局			B.国際移住機関駐日事務所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
予算配分	収容事務運営に必要な経費	802	雑役務費	自主的帰国及び社会復帰支援プログラム委託	11
計		802	計		11
C.株式会社 祝一			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
被保護送収容者食糧費	被収容者給食供給業務委託契約	197			
計		197	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東京出入国在留管理局	-	予算配分	802	その他	-	-	
2	東日本入国管理センター	-	予算配分	538	その他	-	-	
3	名古屋出入国在留管理局	-	予算配分	241	その他	-	-	
4	大村入国管理センター	-	予算配分	230	その他	-	-	
5	大阪出入国在留管理局	-	予算配分	157	その他	-	-	
6	福岡出入国在留管理局	-	予算配分	5	その他	-	-	
7	広島出入国在留管理局	-	予算配分	1	その他	-	-	
8	仙台出入国在留管理局	-	予算配分	1	その他	-	-	
9	札幌出入国在留管理局	-	予算配分	0.5	その他	-	-	
10	高松出入国在留管理局	-	予算配分	0.2	その他	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国際移住機関駐日事務所	-	自主的帰国及び社会復帰支援プログラム委託	11	随意契約 (その他)	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社祝一	4010501005559	東京出入国在留管理局被收容者等給食供給業務	197	一般競争契約 (最低価格)	1	98.4%	-
2	株式会社マルコシ	8011801012126	名古屋出入国在留管理局被收容者給食供給等	150	一般競争契約 (最低価格)	1	99.4%	-
3	首都圏ビルサービス協同組合	1010405002003	東京出入国在留管理局庁舎警備及び被收容者監視業務委託等	141	一般競争契約 (最低価格)	1	86.5%	-
4	株式会社ジェービーエム事業本部	2030001016478	東日本入国管理センター給食調理配膳業務委託	122	一般競争契約 (最低価格)	2	98.6%	-
5	サンエス警備保障株式会社	4040001002525	大阪出入国在留管理局関西空港支局出国待機施設等警備監視業務委託	76	一般競争契約 (最低価格)	2	94.2%	-
6	ニュービルメン協同組合	8010505001534	東京出入国在留管理局庁舎等維持管理業務等	71	一般競争契約 (最低価格)	3	94%	-
7	株式会社ワンプラス	8180301017065	名古屋出入国在留管理局収容場監視業務委託	64	一般競争契約 (最低価格)	2	82%	-
8	株式会社KSP・EAST	3030001004845	東日本入国管理センター警備等業務委託	63	一般競争契約 (最低価格)	3	98.1%	-
9	総合システム管理株式会社	4290001014231	東日本入国管理センター庁舎設備管理業務委託等	63	一般競争契約 (最低価格)	3	97.5%	-
10	アサヒフード株式会社	4310001008668	被收容者に対する給食及び配膳業務等委託	57	一般競争契約 (最低価格)	1	96.7%	-